

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	山辺里デイサービスセンター	評価対象年度	平成 30 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上市社会福祉協議会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年)	評価者(課長)	小田 正浩

①事業実績

利用実績	1日28人定員で、365日開所。延べ利用人数 8,287人(569人増)
サービス向上の取り組み	通年開所しており、定員を増やし希望日の利用や利用時間の延長等にも対応するなど、利用者の確保に努めた。

②管理経費

区分		前々年度 (28年度)	前年度 (29年度)	当該年度 (30年度)	合計	備考
収入	指定管理料					協定額: 0円
	利用料金	10,218	10,514	11,515	32,247	
	自主事業収入	220	112	77	409	
	その他	57,581	59,455	62,564	179,600	
	計	68,019	70,081	74,156	212,256	
支出	管理経費	70,609	71,855	75,409	217,873	
	(うち人件費)	56,393	57,735	60,803	174,931	
	(うち光熱水費)	3,486	3,721	4,869	12,076	
	(うち修繕費)	666	114	89	869	
	(うち委託料)	668	583	569	1,820	
	自主事業費	232	112	77	421	
	計	70,841	71,967	75,486	218,294	
差引		▲ 2,822	▲ 1,886	▲ 1,330	▲ 6,038	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) 法令・マニュアルを遵守し、安全安心な施設運営に努め、節電、節水等省エネルギーへの配慮に心がけた。また、社協の持つ公共性、公益性を活かし、地域との交流や中学生職場体験、各種ボランティアの受け入れを行うなど地域と協働した運営に努めた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由) 通年開所し、今年1月からは日曜日の定員を減らして利用希望者や不定期での利用者確保に努め、急な時間延長や希望時間の利用等の要望にも対応した。アンケート調査の実施、関係機関との情報共有により、利用者の要望の把握に努めた。自主事業では、他施設と合同で介護者リフレッシュ旅行や配食サービス、施設の見学会、介護保険の未認定者の利用体験を開放し、利用促進に努めた。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか					
(評価理由) 今年1月から月曜から土曜日の定員を2名増やし、日曜日の定員を減らして運営。物品購入時にも慎重に検討し、節電等経費の削減を図った。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 法令を遵守し適正な人員配置を行った。全職員が各種研修へ参加し、職員の資質向上を図った。職種間での業務連携を図り、利用者のニーズに合わせた支援に努めるとともに、同一法人内の他のデイサービスセンターと職種ごとに情報交換・協議を行って改善に努めている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 施設等の点検を日々行い、不具合発見時には早急に報告するように努めた。夜間警備は外部委託をしており、緊急時の連絡体制も整備されている。また、施設での避難訓練の他、隣接する小学校、保育園との合同避難訓練も実施している。				

評価点合計	85.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

法令を順守し、安心安全な施設運営に努めていた。社会福祉協議会の持つ公共性、公益性を活かし地域の方々との連携が図られた。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

他のデイサービスセンターとの合同の自主事業も充実させ、今後も、職員の資質向上を図り、利用者・家族のニーズ等の把握に努めて利用者の拡大を図っていただきたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分	
S	95.0以上
A	80.0以上95.0未満
B	60.0以上80.0未満
C	60.0未満